

平成 24 年度 第 8 回東区協議会次第

日時：平成 24 年 10 月 31 日（水）午前 10 時～正午

会場：東区役所 3 階 31、32 会議室

1 開会

2 委嘱書の交付

3 副会長あいさつ

4 議事

(1) 報告事項について

ア 災害廃棄物広域処理の実施について

【廃棄物処理施設管理課】

イ 環状路線バスの実証運行について

【交通政策課】

(2) 地域課題について

ア 《委員会報告》

(ア) 地域防災委員会（10/17）

(イ) 交通安全委員会（10/10）

イ 《発進 10》東区内巡回バス路線（区役所中心）の実施

5 その他

(1) その他

ア 東区役所の電力消費量削減の取り組み実施状況について 【区振興課】

イ 三遠南信地域活性化シンポジウムへの区協議会委員の出席について

【区振興課】

(2) 11 月の開催予定

第 9 回：平成 24 年 11 月 26 日（月）午後 1 時 30 分から

会場 天竜公民館 ホール

12 月の開催予定

第 10 回：平成 24 年 12 月 日（ ） 時 分から

会場

6 閉会

東区協議会委員名簿

◎:会長 ○:副会長 (任期:平成24年10月23日~平成26年3月31日)

役職	氏名	よみがな	性別	選出母体等	地区	委員会
○	石津 幸子	いしづ さちこ	女	浜松市東区保護司会	長上	地域福祉
	市川 雄也	いちかわ かつや	男	浜松市東区民生委員児童委員協議会	積志	地域防災
	市川 千次	いちかわ せんじ	男	公募委員	笠井	交通安全
	稲垣 邦圓	いながき ほうえん	男	蒲ザクラの里実行委員会	蒲	地域福祉
	今宿 康一	いまじゅく こういち	男	浜松市東区自治会連合会	積志	交通安全
	小川 早苗	おがわ さなえ	女	浜松市子ども会連合会	長上	交通安全
	加藤 ゆき子	かとう ゆきこ	女	浜松市PTA連絡協議会	和田	交通安全
	亀田 順子	かめだ じゅんこ	女	浜松市東区民生委員児童委員協議会	蒲	地域福祉
	杉本 節子	すぎもと せつこ	女	とぴあ浜松農業協同組合女性部	笠井	地域防災
	鈴木 充代	すずき みつよ	女	直接指名委員	長上	地域防災
	鈴木 康弘	すずき やすひろ	男	浜松市東区自治会連合会	中ノ町	交通安全
	高橋 里織	たかはし さおり	女	直接指名委員	和田	地域防災
	玉木 澄男	たまき すみお	男	浜松市東区自治会連合会	長上	地域福祉
	田村 滋治	たむら しげはる	男	浜松市東区自治会連合会	笠井	交通安全
	中澤 親一	なかざわ ちかかず	男	浜松市人権擁護委員連絡協議会	長上	地域福祉
	袴田 勝次	はかまた かつじ	男	東区地区社協推進協議会	積志	地域福祉
	堀内 秀哲	ほりうち ひでのり	男	中野町を考える会	中ノ町	地域防災
	村越 義明	むらこし よしあき	男	公募委員	中ノ町	地域防災
	森田 晃司	もりた こうじ	男	浜松市東区自治会連合会	蒲	地域防災
	米山 英二	よねやま えいじ	男	浜松市東区自治会連合会	和田	交通安全

※50音順

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input type="checkbox"/> 協議事項 <input checked="" type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	災害廃棄物広域処理の実施について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	別紙資料のとおり				
対象の区協議会	東区協議会				
内 容	別紙資料のとおり				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)					
担当課	廃棄物処理 施設管理課	担当者	土屋	電話	4 5 3 - 6 1 4 1

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。



災害廃棄物広域処理の実施について

本日、東日本大震災に係る災害廃棄物の広域処理につきまして、静岡県と委託契約を締結しました。

受け入れは、10月18日（木）から開始し、岩手県山田町と大槌町から1日あたりの合計で最大20トン、本年度の合計では約1,600トンを受け入れます。

1 広域処理スケジュール

- | | |
|-----------|------------------------------|
| 10月11日（木） | 委託契約締結（岩手県⇄静岡県、静岡県⇄浜松市） |
| 10月16日（火） | 現地搬出開始 |
| 10月18日（木） | 受入開始（搬入開始予定時刻：西部清掃工場 午前11時頃） |

2 受入予定量（詳細は、別紙）

山田町分	10月～3月	約1,000トン
大槌町分	10月～3月	約600トン
計		約1,600トン

3 受入体制

受入可能量としては、南部・西部清掃工場で日量各20トン計40トンですが、今後の受入量が、日量20トン程度であることから1工場での対応が可能となります。

したがって、当面は、西部清掃工場において熔融処理し、平和最終処分場への埋立処分を基本とします。

南部清掃工場は、受入状況の変化により柔軟に活用することとします。

4 測定項目

(1) 西部清掃工場

1) 放射能濃度測定

搬入物（木質チップ）／ 毎日サンプリングし、週1回測定

埋立物（熔融飛灰固化物）／ 週1回測定

売却物（熔融スラグ、ミックスメタル・精製塩）、排ガス／ 月1回測定

2) 空間線量率 敷地境界及びバックグラウンド／ 週1回測定

3) 有害物質測定（重金属、PCBほか）／ 3ヶ月毎測定

(2) 平和最終処分場

1) 放射能濃度測定 放流水・周縁地下水2箇所・原水・排水汚泥／ 月1回測定

2) 空間線量率 処分場内2箇所、敷地境界9箇所／ 週1回測定

※ 空間線量率は、上記の委託測定のほか、職員により、毎日測定を実施します。

西部清掃工場搬入スケジュール表

(トン)

10月				11月				12月				1月				2月				3月										
日	曜日	山田町 分搬入	大穂町 分搬入	搬入計	日	曜日	山田町 分搬入	大穂町 分搬入	搬入計	日	曜日	山田町 分搬入	大穂町 分搬入	搬入計	日	曜日	山田町 分搬入	大穂町 分搬入	搬入計	日	曜日	山田町 分搬入	大穂町 分搬入	搬入計	日	曜日	山田町 分搬入	大穂町 分搬入	搬入計	
		量(ト)	量(ト)	量(ト)			量(ト)	量(ト)	量(ト)			量(ト)	量(ト)	量(ト)			量(ト)	量(ト)	量(ト)			量(ト)	量(ト)	量(ト)			量(ト)	量(ト)	量(ト)	
1	月				1	木	20		20	1	土				1	火					1	金	8	8	16	1	金	8	8	16
2	火				2	金				2	日				2	水					2	土				2	土			
3	水				3	土				3	月	12	8	20	3	木					3	日				3	日			
4	木				4	日				4	火	12	8	20	4	金					4	月	8	8	16	4	月	8	8	16
5	金				5	月	20		20	5	水	12	8	20	5	土					5	火	8	8	16	5	火	8	8	16
6	土				6	火	20		20	6	木	12	8	20	6	日					6	水	8	8	16	6	水	8	8	16
7	日				7	水	20		20	7	金	12	8	20	7	月					7	木	8	8	16	7	木	8	8	16
8	月				8	木	20		20	8	土				8	火					8	金	8	8	16	8	金	8	8	16
9	火				9	金	20		20	9	日				9	水					9	土				9	土			
10	水				10	土				10	月	12	8	20	10	木					10	日				10	日			
11	木				11	日				11	火	12	8	20	11	金					11	月				11	月	8	8	16
12	金				12	月	20		20	12	水	12	8	20	12	土					12	火	8	8	16	12	火	8	8	16
13	土				13	火	20		20	13	木	12	8	20	13	日					13	水	8	8	16	13	水	8	8	16
14	日				14	水	20		20	14	金		8	8	14	月					14	木	8	8	16	14	木	8	8	16
15	月				15	木	20		20	15	土				15	火					15	金		8	8	15	金		8	8
16	火				16	金	20		20	16	日				16	水	8	8	16		16	土				16	土			
17	水				17	土				17	月	12	8	20	17	木	8	8	16		17	日				17	日			
18	木	12	4	16	18	日				18	火	12	8	20	18	金	8	8	16		18	月	8	8	16	18	月	8	8	16
19	金	12	4	16	19	月	20		20	19	水				19	土					19	火	8	8	16	19	火	8	8	16
20	土				20	火	20		20	20	木				20	日					20	水	8	8	16	20	水			
21	日				21	水	20		20	21	金				21	月	8	8	16		21	木	8	8	16	21	木	8	8	16
22	月	12	4	16	22	木				22	土				22	火	8	8	16		22	金	8	8	16	22	金	8	8	16
23	火	12	4	16	23	金				23	日				23	水	8	8	16		23	土				23	土			
24	水	12	4	16	24	土				24	月				24	木	8	8	16		24	日				24	日			
25	木	12	4	16	25	日				25	火				25	金		8	8		25	月	8	8	16	25	月	8	8	16
26	金	12	4	16	26	月	20		20	26	水				26	土					26	火	8	8	16	26	火	8	8	16
27	土				27	火	20		20	27	木				27	日					27	水	8	8	16	27	水			
28	日				28	水	20		20	28	金				28	月	8	8	16		28	木	8	8	16	28	木			
29	月	12	4	16	29	木	20		20	29	土				29	火	8	8	16		29	金				29	金			
30	火	12	4	16	30	金	20		20	30	日				30	水	8	8	16		30	土				30	土			
31	水	12	4	16						31	月				31	木	8	8	16		31	日				31	日			
月計		120	40	160	月計		380	0	380	月計		132	96	228	月計		88	96	184	月計		144	152	296	月計		128	136	264	



報道発表

試験焼却灰埋立に伴う放射能濃度等測定結果について

災害廃棄物試験焼却灰の埋立二週間後に採取した地下水などの放射能濃度測定結果及び埋立三週間後の敷地境界などの空間線量率測定結果を報告します。

1 測定日

埋立前採取日：平成 24 年 10 月 3 日 埋立後採取日：平成 24 年 10 月 4 日
 埋立一週間後：平成 24 年 10 月 11 日 埋立二週間後：平成 24 年 10 月 18 日
 埋立三週間後：平成 24 年 10 月 25 日

2 測定結果

単位 (Bq / ℓ)

試料名	測定項目	埋立前	埋立後	一週間後	二週間後
原水	放射性セシウム 134	不検出 (1)	不検出 (1)	不検出 (1)	不検出 (1)
	放射性セシウム 137	不検出 (1)	不検出 (1)	不検出 (1)	不検出 (1)
処理水	放射性セシウム 134	不検出 (1)	不検出 (1)	不検出 (1)	不検出 (1)
	放射性セシウム 137	不検出 (1)	不検出 (1)	不検出 (1)	不検出 (1)
周辺地下水 上流	放射性セシウム 134	不検出 (1)	不検出 (1)	不検出 (1)	不検出 (1)
	放射性セシウム 137	不検出 (1)	不検出 (1)	不検出 (1)	不検出 (1)
周辺地下水 下流	放射性セシウム 134	不検出 (1)	不検出 (1)	不検出 (1)	不検出 (1)
	放射性セシウム 137	不検出 (1)	不検出 (1)	不検出 (1)	不検出 (1)

※ () 内は、検出下限値です。

※ 不検出とは、検出下限値未満です。

3 空間線量率測定結果

単位 ($\mu\text{Sv/h}$)

		埋立前	埋立後	一週間後	二週間後	三週間後
埋立場所		0.07	0.07	0.07	0.07	0.08
敷地境界	(児童遊園砂場)	0.06	0.06	0.06	0.07	0.07
	(平松・集積所)	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05
	(平松・新村宅)	0.04	0.04	0.04	0.05	0.04
	(平和・西門前)	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
	(平和・南門前)	0.04	0.04	0.04	0.05	0.04
	(和地・一期東1)	0.05	0.05	0.05	0.06	0.05
	(和地・一期東2)	0.05	0.04	0.05	0.05	0.05
	(和地・一期東3)	0.04	0.04	0.05	0.05	0.04
和地小学校 (玄関前)	5cm	0.07	0.07	0.08	0.08	0.08
	50cm	0.07	0.07	0.08	0.07	0.07
	1m	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07
北庄内小学校 (玄関前)	5cm	0.05	0.05	0.05	0.06	0.05
	50cm	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
	1m	0.05	0.05	0.05	0.06	0.05
湖東中学校 (正面前)	5cm	0.07	0.06	0.07	0.08	0.07
	50cm	0.07	0.06	0.07	0.07	0.07
	1m	0.07	0.06	0.07	0.07	0.06
和地幼稚園 (正門前)	5cm	0.07	0.07	0.07	0.06	0.07
	50cm	0.06	0.06	0.07	0.07	0.07
	1m	0.06	0.06	0.06	0.06	0.07
北庄内幼稚園 (正門前)	5cm	0.06	0.05	0.06	0.07	0.06
	50cm	0.05	0.05	0.05	0.06	0.05
	1m	0.05	0.05	0.05	0.06	0.04
かしま保育園 (正門前)	5cm	0.05	0.06	0.05	0.07	0.06
	50cm	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06
	1m	0.05	0.05	0.06	0.06	0.05
オイスカ高校 (正門前)	5cm	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04
	50cm	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04
	1m	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04

4 今後の予定

結果は、週ごとに整理し、順次公表します。なお、放射性物質濃度の測定結果につきましては、分析に概ね2週間程度かかります。



報道発表

災害廃棄物広域処理の実績及び今週の搬入計画量について

平成 24 年 10 月 18 日(木)・19 日(金)の両日に浜松市西部清掃工場へ搬入されました災害廃棄物量と平和最終処分場へ搬入されました熔融飛灰等の量は、つぎのとおりでした。また、今週(10 月 22 日から 10 月 26 日)の、搬入計画量もあわせて報告します。

1 災害廃棄物搬入実績

	山田町搬出		大槌町搬出		計	
	量 (ト)	コンテナ数	量 (ト)	コンテナ数	量 (ト)	コンテナ数
10 月 15 日 (月)	—	—	—	—	—	—
10 月 16 日 (火)	—	—	—	—	—	—
10 月 17 日 (水)	—	—	—	—	—	—
10 月 18 日 (木)	10.88	3	3.11	1	13.99	4
10 月 19 日 (金)	10.59	3	3.11	1	13.70	4
計	21.47	6	6.22	2	27.69	8

2 平和搬入実績

	熔融飛灰		灰処理不適物		計	
	量 (ト)	車数	量 (ト)	車数	量 (ト)	車数
10 月 15 日 (月)	—	—	—	—	—	—
10 月 16 日 (火)	—	—	—	—	—	—
10 月 17 日 (水)	—	—	—	—	—	—
10 月 18 日 (木)	—	—	—	—	—	—
10 月 19 日 (金)	12.48	2	3.46	1	15.94	3
計	12.48	2	3.46	1	15.94	3

3 災害廃棄物搬入計画

	山田町搬出		大槌町搬出		計	
	量 (ト)	コンテナ数	量 (ト)	コンテナ数	量 (ト)	コンテナ数
10 月 22 日 (月)	1 2	3	4	1	1 6	4
10 月 23 日 (火)	1 2	3	4	1	1 6	4
10 月 24 日 (水)	1 2	3	4	1	1 6	4
10 月 25 日 (木)	1 2	3	4	1	1 6	4
10 月 26 日 (金)	1 2	3	4	1	1 6	4
計	6 0	1 5	2 0	5	8 0	2 0



報道発表

災害廃棄物広域処理の実績及び今週の搬入計画量について

平成 24 年 10 月 22 日から 10 月 26 日に浜松市西部清掃工場へ搬入されました災害廃棄物量と、西部清掃工場で市内の一般ごみと共に処理して発生した溶融飛灰等の平和最終処分場へ搬入しました量は、つぎのとおりでした。また、今週（10 月 29 日から 11 月 2 日）の、搬入計画量もあわせて報告します。

1 災害廃棄物搬入実績

	山田町搬出		大槌町搬出		計	
	量 (ト)	コンテナ数	量 (ト)	コンテナ数	量 (ト)	コンテナ数
10 月 22 日 (月)	11.69	3	3.17	1	14.86	4
10 月 23 日 (火)	11.29	3	3.09	1	14.38	4
10 月 24 日 (水)	11.01	3	3.38	1	14.39	4
10 月 25 日 (木)	10.97	3	3.31	1	14.28	4
10 月 26 日 (金)	10.16	3	2.87	1	13.03	4
計	55.12	15	15.82	5	70.94	20
先週末まで	21.47	6	6.22	2	27.69	8
累計	76.59	21	22.04	7	98.63	28

2 溶融飛灰等の平和搬入実績（市内の一般ごみ分も含む）

	溶融飛灰		灰処理不適物		計	
	量 (ト)	車数	量 (ト)	車数	量 (ト)	車数
10 月 22 日 (月)	38.75	4			38.75	4
10 月 23 日 (火)	9.20	2			9.20	2
10 月 24 日 (水)	12.60	2	4.81	1	17.41	3
10 月 25 日 (木)	9.98	1			9.98	1
10 月 26 日 (金)	17.42	2			17.42	2
計	87.95	11	4.81	1	92.76	12
先週末まで	12.48	2	3.46	1	15.94	3
累計	100.43	13	8.27	2	108.70	15

3 災害廃棄物搬入計画

	山田町搬出		大槌町搬出		計	
	量 (ト)	コンテナ数	量 (ト)	コンテナ数	量 (ト)	コンテナ数
10 月 29 日 (月)	12	3	4	1	16	4
10 月 30 日 (火)	12	3	4	1	16	4
10 月 31 日 (水)	12	3	4	1	16	4
11 月 1 日 (木)	20	5	—	—	20	5
11 月 2 日 (金)	—	—	—	—	—	—
計	56	14	12	3	68	17

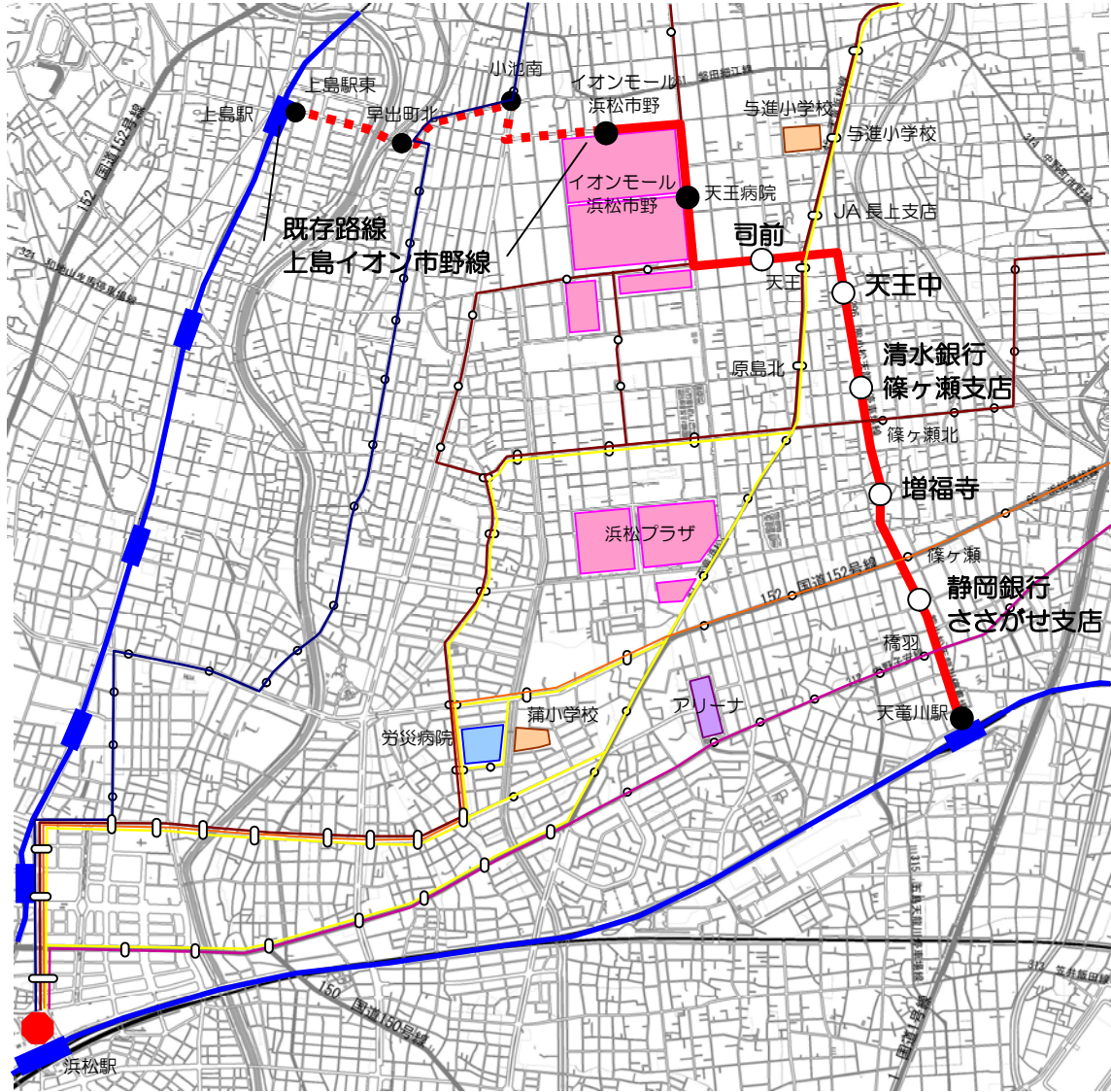
第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input type="checkbox"/> 協議事項 <input checked="" type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	環状路線バスの実証運行について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>背景：本市では、使いやすく持続可能な公共交通を実現するため、主要な交通結節点である鉄道駅や郊外の大型商業施設、総合病院をミニバスターミナルとした、新たな公共交通ネットワークの構築を目指している。</p> <p>経緯：上島駅からイオンモール浜松市野間の既存バス路線を活かし、JR天竜川駅までの区間を新規に運行することで、イオンモール浜松市野をミニバスターミナルとした環状路線の一部として実証運行を行う。</p> <p>東区においては、この実証運行によって、鉄道駅や商業施設へのアクセス性向上、区内の交流人口拡大、交通事故の削減等が期待される。</p> <p>課題：実証運行から本格運行に移行するには、多くの方に利用していただく必要がある。</p>				
対象の区協議会	東区協議会				
内 容	実証運行の概要				
	運行期間	平成24年12月1日～平成26年9月30日			
	運行事業者	遠州鉄道株式会社			
	運行区間	JR天竜川駅～イオンモール浜松市野 ※上島駅～イオンモール浜松市野までは既存バス路線あり			
	ルート、バス停	別紙路線図を参照			
	運行本数	25便/日(1本/時)			
	運行時間	7～19時台			
	使用車両	小型バス(乗車定員25人)1台			
	運賃	均一料金：大人1乗車200円、小人(小学生以下)半額			
	地域の協力	沿線10自治会で組織する意見交換会を設置			
事業評価	利用状況(乗降バス停、利用者ヒアリング等)、収支状況により実証運行の評価し、事業の継続を検討する。				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	今後の予定：運行開始日の平成24年12月1日にイオンモール浜松市野で出発式典を開催予定				
担当課	交通政策課	担当者	藤原 邦生	電話	457-2441

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

■環状路線バス路線図



※上島駅東～イオンモール浜松市野間は既存路線「上島イオン市野線」あり
 は既存バス停、 は新規バス停

東区協議会第5回地域防災委員会会議要旨

- 1 開催日時 平成24年10月17日(火) 午前10時～午後0時40分
- 2 開催場所 東区役所 31・32 会議室
- 3 出席者 区協防災委員：堀内委員長、鈴木充委員長代理、杉本、高橋、村越、市川
区振興課：瀧井課長、金山、鈴木勝久 合計9人

4 会議内容

- 午前10時～午後0時10分 第5回東区避難行動計画策定会議に参加
午後0時10分～午後0時40分 第5回地域防災委員会

<地域防災委員会要旨>

○地域防災委員会の意見

- ・避難行動計画については、自治会の協力を得て、自主防災隊から住民に説明してはどうか。
- ・避難行動計画配付後に、区民に活用してもらうための具体的な活動を検討する。
- ・小中学校の協力により、授業等で避難行動計画を活用してほしい。
そのための具体的な活動を検討する。
- ・策定後についても、避難行動計画に関する広報事業や活用推進事業について検討したい。

○事務局報告

- ・地域防災委員会委員を対象に先進都市視察を実施する。
視察日程 11月15日(木)、16日(金) 2日間
視察場所 浦安市(都市の液状化について)、東京都(防災センター視察)
出席は、委員全員と東区役所職員(鈴木忠) 計7人

○今後の予定

- ・委員会の回数が、視察を含め予定回数を越えるが、第7回を開催する。
開催日時 平成24年12月12日(水) 午前10時～正午
開催会場 東区役所 33 会議室
開催内容 避難行動計画の広報・活用事業について

東区協議会 発進10

No. 1

☆発進者（東区協議会委員名） 中澤 親一

ホップ・ステップ・ジャンプ！

地域の課題解決

1 誰から 本人（東区協議会委員）

2 いつごろ 平成24年9月21日

3 どこで 東区内

4 なにを 東区内巡回バス路線（区役所中心）の実施

5 現在の取り組み状況

現在の公共交通（バス、JR、電車）しか移動手段のない人（特に高齢者）が、区内の施設（東区役所、公民館、病院等）を利用するための交通手段がない。

注1）現状のバス、電車等の路線はすべて市中央部（中区）への路線である。旧市内中心部の考えを区中心の考えにすべきである。

注2）合併前の浜北区、天竜区、北区（引佐）はそれぞれの区内の巡回バス路線がある。

注3）区役所に区民が来る路線がないのはいかなるものか。

注4）JR天竜川駅ーイオン市野店を結ぶバス路線が試行される様であるが、これは市中央部中心の発想で、区中心の路線（提案のもの）とはまったく違う。

6 こうしたい

路線は、JR天竜川駅ー遠鉄西鹿島線の積志駅、西ヶ崎駅などの1駅ー区役所ー公民館ー区内病院などを結ぶ。（大型商業施設もよい）

7 区振興課調査内容

8 対応策の決定

9 結果・確認

10 反省・今後の課題



東区役所の電力消費量削減の取り組み実施状況（7月～9月）について

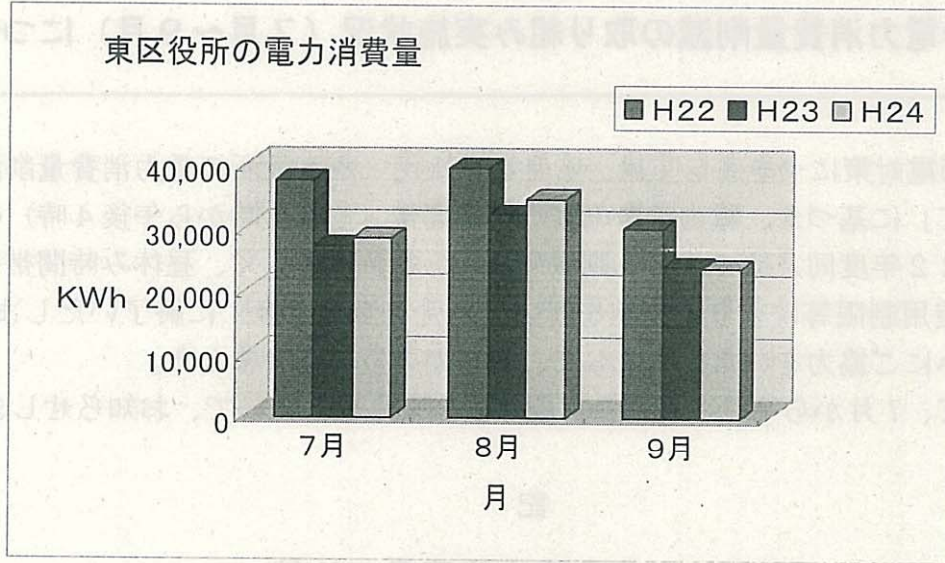
東区役所の節電対策につきましては、6月22日付「東区役所の電力消費量削減の取り組みについて」に基づき、電力消費のピーク時間帯（午後1時から午後4時）の電力消費量を平成22年度同月比で15%削減することを目標として、昼休み時間帯のシフト、空調機の使用制限等により取り組みを行い、9月28日（金）に終了いたしました。節電の取り組みにご協力をいただきまして、ありがとうございました。これについて、7月から9月の取り組み実績がまとまりましたので、お知らせします。

記

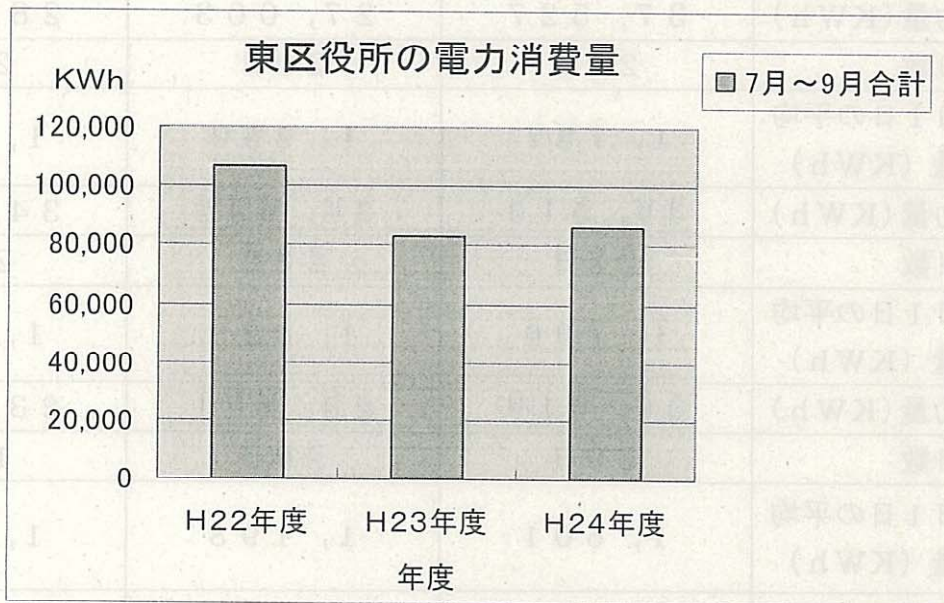
7月～9月の電力使用量の比較

		H22年	H23年	H24年
7月	全電力量(KWh)	37,527	27,003	28,389
	開庁日数	21日	20日	21日
	開庁日1日の平均電力量(KWh)	1,787	1,350	1,352
8月	全電力量(KWh)	39,513	32,042	34,623
	開庁日数	22日	23日	23日
	開庁日1日の平均電力量(KWh)	1,796	1,393	1,505
9月	全電力量(KWh)	30,019	23,861	23,526
	開庁日数	20日	20日	19日
	開庁日1日の平均電力量(KWh)	1,501	1,193	1,238
7月～ 9月	全電力量(KWh)	107,059	82,906	86,538
	開庁日数	63日	63日	63日
	開庁日1日の平均電力量(KWh)	1,699	1,316	1,374

◎ H22年9月と、H24年9月の比較において、21.6%の減となりました。



◎ H22年7月～9月と、H24年7月～9月の3ヶ月間の比較において、19.2%の減となりました。



東区・区振興課
管財会計G
永見・鈴木素生
内線 6111

三遠南信

地域活性化シンポジウム

～ 街道を活かした地域づくりに学ぶ ～

平成24年12月8日(土) 10:30～15:45
(開場 10:00 / 開演 10:30)
(交流会 14:45～15:45)

シンポジウム会場

浜松市役所本館 8階 全員協議会室

定員

100名 (定員となり次第、申込締切)

参加費

無料 (交流会のみ参加費 1,000円)

開会あいさつ

イントロダクション

「街道観光とは」

浜松市観光アドバイザー、東海旅客鉄道株式会社相談役 須田 寛 氏

事例報告

「姫街道を活かした地域づくり」

姫街道連絡協議会姫街道未来塾会長 上嶋 裕志 氏

「秋葉街道を活かした地域振興」

秋葉街道信遠ネットワーク前代表 木下 利春 氏

「てんはまエコミュージアムの取り組みについて」

浜松市環境部環境政策課主任 村瀬 暁子

講演

「着地型観光による地域づくり」

株式会社リクルートじゃらんリサーチセンターエリアプロデューサー 木島 達也 氏

討論

「街道観光による地域活性化」

パネリスト 上嶋 裕志 氏、木下 利春 氏、木島 達也 氏
浜松観光コンベンションビューロー専務理事 村田 克弘

コーディネーター 須田 寛 氏

交流会

交流会参加費：1,000円 (当日受付にてお支払い下さい)

交流会会場：浜松市役所北館1階101会議室



浜松市観光アドバイザー
東海旅客鉄道株式会社相談役

須田 寛 氏

1931年京都府生まれ。1954年京都大学法学部卒。同年日本国有鉄道入社。名古屋鉄道管理局長、旅客局長などを経て、1987年国鉄の民営化に伴い、東海旅客鉄道株式会社初代代表取締役社長に就任。1995年同社代表取締役会長、2004年から同社相談役。著書「新産業観光」、「観光・新しい地域づくり」等多数。



株式会社リクルート
じゃらんリサーチセンター
エリアプロデューサー

木島 達也 氏

1991年株式会社リクルート入社。HR人材総合サービス事業部門において、企業の新卒・キャリア採用の企画提案、組織活性のための教育プログラム提案、企業ブランディングのための広報提案などを担当。本年2012年3月より『じゃらんリサーチセンター』エリアプロデューサー(静岡県、愛知県、三重県担当)に就任。地域振興プロデュースはもとより、これまで培ってきた経験を活かして、観光人材・地域プロデューサー育成や、雇用創出や定住人口増加となる企画をプロデュースしている。

- ※ 会場には駐車場がございません。また、交流会ではアルコール類もご提供いたしませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
- ※ 昼食をご持参された方は、飲食が可能な会場をご用意いたします。
- ※ 参加ご希望の方は、裏面参加申込書に記入の上お申し込み下さい。

お問合せ先：浜松市企画調整部企画課 TEL053-457-2086

主催：浜松市

三遠南信地域活性化シンポジウム

参加申込書

団体名

--

参加者

役職等	氏名	交流会 (参加費 1,000 円)

- 交流会への参加を希望される方は「○」印をご記入ください。なお、交流会参加費 1,000 円は、当日受付にてお支払ください。
- なるべく多くの団体にご参加いただきたいと考えておりますので、1 団体 3 名様までとさせていただきます。また、申し込みは先着順を基本としますが、参加希望団体が多数の場合は、1 団体からの参加人数を調整させていただく場合がございますので、ご了承ください。

代表者ご連絡先

氏名			
住所			
電話番号		F A X	
E-mail			

ご意見欄

討論において、検討してほしい課題、聞きたい情報などについて、ご意見がございましたら、ご記入ください。

会場案内図



送付先：浜松市企画調整部企画課

FAX 053-457-2248

E-Mail koiki@city.hamamatsu.shizuoka.jp

送付先：浜松市企画調整部企画課

FAX 053-457-2248 E-Mail koiki@city.hamamatsu.shizuoka.jp

三遠南信地域活性化シンポジウム参加申込書

団体名

--

参加者

役職等	氏名	交流会 【参加費 1,000 円】

- ◆ 交流会への参加を希望される方は「○」印をご記入ください。なお、交流会参加費 1,000 円は、当日受付にてお支払ください。
- ◆ なるべく多くの団体にご参加いただきたいと考えておりますので、1 団体 3 名までとさせていただきます。また、申し込みは先着順を基本としますが、参加希望団体が多数の場合は、1 団体からの参加人数を調整させていただく場合がございますので、ご了承ください。

代表者ご連絡先

氏名			
住所			
電話番号		F A X	
E-Mail			

ご意見欄

討論において、検討してほしい課題、聞きたい情報などについて、ご意見がございましたら、ご記入ください。

--

東区交通安全モデル地区事業 生活道路のゾーン対策講演会

東区では、交通事故を削減し、人口当たりの交通事故件数ワースト1をできるだけ早く脱出できるように、様々な事業を展開していきます。

今回は、全国でも実績を上げ始め、注目を集めている手法である「ゾーン30」を紹介します。

幹線道路と生活道路が混在する東区において、有効的な手法を取り入れることが出来るのか、「ゾーン30」を実施するメリットと具体的な実施方法などを、全国の事例を紹介しながら、生活道路における交通安全対策についての講演会です。

開催日時 平成24年11月17日(土) 午後2時～午後4時
開催会場 浜松市総合産業展示館 北館 1号ホール
講師 久保田 尚 氏(埼玉大学大学院教授)
定員 200人
参加料 無料

【講師紹介】久保田 尚(くぼた ひさし)氏

埼玉大学大学院理工学研究科教授 工学博士

専門は、都市交通計画、地区交通計画である。マイクロ交通シミュレーションシステムを用いた交通現象分析や地区交通計画における住民参加に関する研究などにより数多くの論文を執筆し、全国で交通安全対策に関する講演を実施。

浜松市では、浜松21世紀都市交通会議委員長を務められ、「みをつくしバス」などコミュニティ交通に関してもご尽力いただいている。

【ゾーン30】とは...

歩行者等の通行が最優先され、通過交通が可能な限り抑制されるという考え方に対する住民の理解が得られる地区を設定し、最高速度を30km/hの区域規制するもの。この地区内では、通過交通の排除と走行速度を抑制する対策として、路側帯の拡幅やカラー舗装、各種通行禁止規制等を実施する。

国の第9次交通安全基本計画に基づき、平成28年度までに全国で3,000箇所の整備を行う。

主催:東区役所 問合せ先 東区役所 区振興課 053-424-0115